

平成27年7月期 中間決算短信（平成26年7月17日～平成27年1月16日）

平成27年2月20日

ファンド名 MAXIS トピックス・コア30上場投信
 コード番号 1344
 連動対象指標 TOPIX Core 30
 主要投資資産 株式
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ投信株式会社
 代表者名 取締役社長 金上 孝
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部長 井上 靖

上場取引所 東証

URL <http://www.am.mufg.jp/>

TEL (03)6250-4910

半期報告書提出予定日 平成27年 4月15日

I ファンドの運用状況

1. 平成27年1月中間期の運用状況（平成26年7月17日～平成27年1月16日）

(1) 資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 （負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成27年1月中間期	2,680	(98.3)	46	(1.7)	2,726	(100.0)
平成26年7月期	2,548	(99.3)	18	(0.7)	2,566	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成27年1月中間期	4,081	—	—	4,081

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 ((③/当中間計算期間末発行済口数)×100)
	百万円	百万円	百万円	円
平成27年1月中間期	2,729	3	2,726	66,795
平成26年7月期	2,651	85	2,566	62,873

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表等

MAXIS トピックス・コア30上場投信

(1) 【中間貸借対照表】

	第6期 [平成26年7月16日現在]	第7期中間計算期間末 [平成27年1月16日現在]
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	60,914,988	45,466,097
株式	2,548,185,200	2,680,237,860
未収入金	40,289,600	—
未収配当金	2,308,700	3,901,000
未収利息	88	74
流動資産合計	2,651,698,576	2,729,605,031
資産合計	2,651,698,576	2,729,605,031
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	81,226,884	—
未払受託者報酬	887,202	727,787
未払委託者報酬	2,484,086	2,037,745
その他未払費用	791,656	419,141
流動負債合計	85,389,828	3,184,673
負債合計	85,389,828	3,184,673
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	2,767,428,534	2,767,428,534
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△) ※2	△201,119,786	△41,008,176
(分配準備積立金)	(371,572)	(371,572)
元本等合計	2,566,308,748	2,726,420,358
純資産合計	2,566,308,748	2,726,420,358
負債純資産合計	2,651,698,576	2,729,605,031

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

	第6期中間計算期間 自平成25年7月17日 至平成26年1月16日	第7期中間計算期間 自平成26年7月17日 至平成27年1月16日
	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	44,454,190	31,057,336
受取利息	18,828	10,536
有価証券売買等損益	198,769,951	132,326,937
その他収益	1,244	649
営業収益合計	243,244,213	163,395,458
営業費用		
受託者報酬	1,070,013	727,787
委託者報酬	2,995,977	2,037,745
その他費用 ※1	688,222	518,316
営業費用合計	4,754,212	3,283,848
営業利益	238,490,001	160,111,610
経常利益	238,490,001	160,111,610
中間純利益	238,490,001	160,111,610
一部交換に伴う中間純利益金額の分配額	—	—
期首剰余金又は期首欠損金(△)	△331,184,074	△201,119,786
剰余金増加額又は欠損金減少額	51,614,472	—
中間一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	51,614,472	—
分配金	—	—
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△41,079,601	△41,008,176

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
-------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第 6 期 [平成26年7月16日現在]	第 7 期中間計算期間末 [平成27年1月16日現在]
※1 期首元本額	4,655,603,616円	2,767,428,534円
期中追加設定元本額	—	—
期中一部交換元本額	1,888,175,082円	—
※2 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	201,119,786円	41,008,176円
3 受益権の総数	4,081,753口	4,081,753口
4 1口当たり純資産額 (100口当たり純資産額)	628.73円 (62,873円)	667.95円 (66,795円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 6 期中間計算期間（自 平成25年7月17日 至 平成26年1月16日）

- ※1 その他費用
上場費用および商標使用料等を含んでおります。

第 7 期中間計算期間（自 平成26年7月17日 至 平成27年1月16日）

- ※1 その他費用
上場費用および商標使用料等を含んでおります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 6 期 [平成26年7月16日現在]	第 7 期中間計算期間末 [平成27年1月16日現在]
1 中間貸借対照表計上額、 時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

(有価証券関係に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。